

えんとつ

No.7

平成12年度 予算について

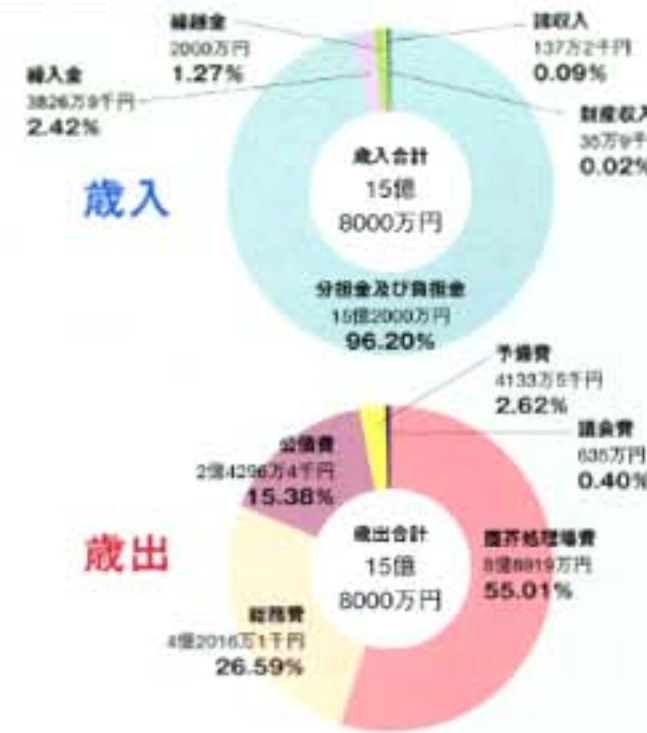
平成12年度予算は、歳入歳出とも15億8000万円で、11年度と比較すると、2億5000万円、13.7%の減となります。

基本事項としては、新施設稼働開始までの間、施設保全計画に基づき、組織市との協調のもと、環境保全に配慮し、円滑なごみ処理事業を行い、地域との信頼関係を構築し、共存を推進していくこととしております。

基本方針としては、行財政改革に基づき、事務事業を重点化し、環境対

策、安定処理確保等ごみの中間処理に必要な事業を効率的・計画的に推進していくこと、特に、事業構想に基づく「循環型施設更新基本計画」の策定及び「環境影響評価」の事業、市民参加を基調としてこれら事業の推進を図ることとしております。

歳入予算の大半を占める分損金については、11年度より1億4000万円、8.4%減の15億2000万円となっております。



ごみいった話

～ 小村大の困った。困った。～

恐怖のビデオテープ!

家庭で不用になったビデオテープやカセットテープ、みなさんはどうされていますか? ほとんど不燃ごみとして集積所に出されるのではないのでしょうか。ところが、私(えんとつさん)のところでは大変困ったことが起こっています。今回はそんなお話をします。

不燃ごみとして集められたテープ等は、ほかの不燃ごみと一緒にまず破砕機で砕かれ、資源物とそれ以外の物に選別します。ところが、破砕機を含めた機械は、万端ではありません。砕けなかったテープ状のものが、機械に引っ掛かることがたびたび起きます。このままだと、選別を行うことが困難となります。選別量そのものが制限されてしまうのです。また、熱でテープに火が着いて火災が発生する恐れもあります。

このようなトラブルを防止するために、ビデオテープやカセットテープだけを事前に選別して、取り除くのも、とても困難です。さて、私はいったいどうしたら良いのでしょうか? みなさん、私と一緒にその対策を考えてほしいのです。



これからのごみ焼却炉はダイオキシン類を減らす

学識経験者 寺嶋均さん

ダイオキシン類は自然界に広く分布しているため、焼却場に入ってくるごみには、1トンあたり最大で50μgのダイオキシン類が含まれていますが、最新式の焼却炉で燃やせば、出ていくときはごみ1トンあたり1μg以下に減らすことができます。これまで焼却炉はダイオキシン類を出す施設とされていたが、これからは逆にダイオキシン類を減らす施設とすることができます。



3月4日の「市民フォーラム」で取り上げられた話題です。

トピックス

リサイクルできない紙

資源再生事業者 紺野武郎さん

例えば発泡紙は、製紙会社の工場の釜の中で細かい泡になり、これが一枚入っていると一釜の再生紙が商品にならないことになります。また、芳香紙が混ざった再生紙はにおいがついてしまうため、食品の包装に使われると困ってしまいます。この他、感熱紙なども量が多いと問題を起こします。

VOICE

編集後記

小平・村山・大和衛生組合の沿革
小平・村山・大和衛生組合は、ごみを
共同処理するために、一部事務組合と
して昭和40年に発足し、昭和41年か
ら焼却処理を開始、現在に至ってい
ます。

発行元
小平・村山・大和衛生組合
住所/小平市小島町2番1号
電話/042-341-4445
平成12年3月発行

市民フォーラムで、パネリストカシ
ワシのパネラーの方は、目撃者ごみ
問題や環境問題に就いて取り組ま
れており、様々なところで行動され
ている方が多くいます。実際に行動
体験した上で感じたことを語った話
は、いずれも大変参考となり、有意義
なお話をお聞きすることができ、
とても良い機会があったと思います。

リサイクルを推進する上で、各品目
(紙、布、資源、アルミ、ガラス、生ご
みなど)それぞれ処理する段階で、焼
却場という現実では資源投入など
による問題が発生しています。また、
リサイクルにはお金もたくさんかか
っています。

ごみ問題、環境問題は、一時的に物
事を考えるのではなく、色々な角度
から考えなくてはならないと思いま
す。環境のために、再生できるもの
で資源回収に出したごみの紙が、実
にたくさんのごみを無駄にしている
こともあるのです。

みなさん、少ずつ、できることから
何か始めて見ませんか。そして新た
な疑問や問題が出てくるかもしれ
ませんが、それらを一つ一つ克服して
いくことが地球規模での環境問題を
解決する第一歩になるはずです。で
は、また次号でお会いしましょう。

主な内容は次のとおりです

- 第1章「循環型施設更新事業構想の位置付け等」
- 第2章「こみ処理とリサイクルの現状」
- 第3章「こみ処理とリサイクルの将来像」
- 第4章「リサイクル施設・こみ処理施設の将来構想」
- 第5章「衛生組合の施設更新事業の方向」
- 第6章「今後の進め方」



(注)なお、今後の年次計画には若干の変更も考えられます。

会場からは、スーパーのバック詰めなどの包装を簡素化してほしい、産業廃棄物や最終処分場のダイオキシン対策を行うべき、プラスチックを含む可燃物の焼却について、焼却だけにしばらず時間をかけて処理方法を検討してほしい、野菜などの対策を進めてほしいなどの意見が出されました。